

開館60年記念

企画展「たけくらべ」入門



『たけくらべ』樋口邦子編(大正7年)

令和3年

10月23日[土]~12月19日[日]

開館時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始

※展示替えのため10月18日(月)~22日(金)、12月20日(月)~28日(火)は休館いたします
※ご来館の前にホームページ等で最新情報をご確認ください

入場料 一般 300円、小中高生 100円

※樋口一葉の命日11月23日(火・祝)は入館無料
※障害者手帳または特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介助者は無料

主催 公益財団法人 台東区芸術文化財団

一葉直筆「たけくらべ」未定稿を公開!



台東区立 一葉記念館

〒110-0012 東京都台東区竜泉3-18-4 Tel.03-3873-0004
東京メトロ日比谷線三ノ輪駅徒歩約10分
<https://www.taitocity.net/zaidan/ichiyo/>



たいとう文化財団

企画展「たけくらべ」入門



「たけくらべ」 木村荘八

画家で随筆家でもあった木村荘八は一葉を敬愛し、一葉作品をモチーフに数多くの作品を描いた



樋口一葉自筆「たけくらべ」未定稿

『文学界』第26号（明治28年2月発行）掲載分の一部



「たけくらべ」が一括掲載された『文芸倶楽部』第2巻第5編
明治29年（1896）

挿絵には主人公の美登利と見返り柳が描かれている



映画「樋口一葉」の広告（『日本劇場ニュース』第157号）
昭和14年（1939）

山田五十鈴演じる一葉を主演に、「たけくらべ」「十三夜」「大つごもり」などの登場人物を交えて描く。美登利役は高峰秀子、並木鏡太郎監督

樋口一葉の代表作「たけくらべ」は、発表から120余年を経た現在も読み継がれる不朽の名作です。舞台は台東区竜泉、当初『文学界』に断続的に連載された作品でしたが、当時の一流文芸雑誌『文芸倶楽部』に一括掲載されると、文壇の大御所であった森鷗外や幸田露伴が大絶賛。一葉は一躍有名女流作家となりました。以後多くの作家や画家に愛された一葉と「たけくらべ」は、全集や文庫本などさまざまな書籍として繰り返し出版されてきました。

当館が昭和36年（1961）に開館してから60年となる本年の企画展では、この名作がどのように生まれ、読み継がれてきたのか、絵画、映画、児童書、漫画など作品の広がりとともにご紹介します。



さまざまな子ども向けの書籍

「たけくらべ」は、児童文学集や漫画、絵本など多くの子ども向け書籍としても出版されている

台東区立 一葉記念館

〒110-0012 東京都台東区竜泉3-18-4
Tel 03-3873-0004
<https://www.taitocity.net/zaidan/ichiyo>



HP

記念館へのアクセス

- 地下鉄：日比谷線三ノ輪駅 徒歩10分
- 都バス（都08）：日暮里駅・錦糸町駅より「竜泉」下車 徒歩3分
- 北めぐりん：「一葉記念館入口」下車 徒歩2分
- ぐるーりめぐりん：「一葉記念館」下車 徒歩5分
- つくばエクスプレス 浅草駅 徒歩15分